

わが社のいち押し

南区上鶴間本町にあるコンテックスは、機械エンジニアリングや技術者派遣、翻訳業務を手掛けています。特に翻訳業務では、機械翻訳にはできない専門的な内容を伝える「工業翻訳」を得意としています。そして、翻訳にとどまらず、グローバル取引や海外市場に向けたPR支援などもワンストップで手掛けています。まさに中小企業にとっての「国際部」とも言うべき存在です。今年7月には創業40周年を迎えます。

■求められる専門知識

同社を率いる近藤千奈美社長は、米国の大学を卒業し、現地で会社勤務を経験。帰国後に先代である父が創業した同社に入社しました。もともと

同社は、機械エンジニアリング企業として出発しましたが、英語を得意とする近藤社長の代になってからは、翻訳事業にも注力しています。現在、同事業は経営の大きな柱に育っています。

IT化の進展に伴い、海外情報に身近に触れ、コミュニケーションする機会が飛躍的に増えました。それと同時に、地域の企業にとっても海外取引は身近になりつつあります。当然、翻訳に対するニーズも高まっています。

しかしながら、一概に翻訳といっても、ビジネスの場合は、英語スキ

ルだけでなく、専門知識や経験が求められます。まして工業分野の場合には、難解な技術説明を外国人に的確に伝えなければなりません。シビアナビジネスの世界だけに、誤って認識されてしまえばトラブルに発展するリスクもあります。

■「品質」に自信

そこで必要になるのが、同社のような工業系に強い「翻訳のプロ」です。海外企業との契約書、輸出した装置のマニュアル。同社でカバーする翻訳は多岐にわたっています。

「ものづくりの世界ではよく『品質』と言われますが、翻訳も同じです」と近藤千奈美社長は説明します。必要により、翻訳後に外国人によるネイティブチェックもする徹底ぶりです。

「一つの言葉を訳すにしても、その解釈が難しいことがあります。工業系の技術翻訳はなおさらです。その点、当社はエンジニアリング企業

でもあるので、部品

や機械などの言葉は理解しています。工業系に強いことが、ほかの翻訳会社にはない点です」（近藤社長）とも話します。

英語のみならず、中国語やベトナム語など、あらゆる言語にも対応しています。

■豊富なサポートメニュー

守備範囲は翻訳だけにとどまりません。「中小企業の国際化を支援するのにも当社の役割です」（同）と言うように、

海外企業との取引が初めての企業や、取引経験が少ない企業に対し、さまざまなサポートをしています。

技術に強い「工業翻訳」で中小企業の国際化後押し

近藤 千奈美さん

（株）コンテックス
代表取締役

例えば、海外企

業向けのプレゼン資料の作成や、外国版ホームページ・会社案内の制作、外国語版プロモーション動画の制作などがあります。そして、海外企業からの問い合わせがあっても、同社が迅速に翻訳をしたり、オンライン商談時の通訳をしたりと、要望に応じたサービスも用意しています。

今年1月からはRCEP（地域的な包括的経済連携）が発効するなど、アフターコロナ時代は中小企業にとっても海外市場におけるビジネスチャンス拡大が期待されています。それに伴って、同社の存在感もますます高まりそうです。